

6 西牧氏 問題にはならん、そんな希望する、株を昇給を爲して會社が維持せらるゝと思ふ

野呂氏 職長は傍觀して才三若として所有志着しくは縣有志に依頼して調停を求め

や、つか。

越田氏 解決は六で敷ければ又角が協議すべきかの点を明かしてみよう。

竹内氏 尚熟考せられて名案あれば相談して見て下さい。

二十五日 本日用が職長代表と會見せり。

會社側 工場長 笹子 謹氏 主事兼事務部長 竹内十一郎氏

職長側 串畑豊吉氏 野呂儀三郎氏 袖下甚三郎氏 岡野梅吉氏 大野氏

串畑春吉氏 林 實夫氏 岡部 氏

笹子氏 種々諸君に心配やう、迷惑を被り、相済まません。大體此度の問題は新しく突発した
のにはなく、吾々が此工場に赴任した当時よりこの問題であった。今迄吾々は忍耐して
来て居った。畢竟諸君も部下を使ひの難儀であった。それ下吾々は時機
来るのを待つて居た。あるが今回突発して来たのである。

諸君 自分達もしては部下の使へる事を其儘に放棄して置く事は出来ないのであり、
し、又諸君も忍びない事であるが、面白く行くには此際凡そ犠牲として工場を不良分子
を一掃してしまふ必要はない。そして船主の方々も御座るが、解を得る為には
戸を於て各船主と話し合ふ處、可然やれとの御話もありました。急ぐ仕事は此際櫻島